

装港小学校の東小学校への統合計画中止を

日本共産党

長岡^{たつひさ}市議が一般質問 「決定には至っていない」 との答弁引き出す



9月市議会の一般質問で、日本共産党の長岡たつひさ市議は、装港小学校の東小学校への統合計画の問題をとりあげ、市と教育委員会をただし、教育委員会から「地域の方への説明会を3回実施しましたが、一定の理解を頂けるご意見もある一方で、統合に反対の厳しいご意見も頂いており、統合の決定には至っていない状況です」との答弁を引き出しました。

住民の合意尊重が不可欠

学校統廃合は、子どもの教育と地域社会の存続の双方にかかわります。それだけに、子どもを含む住民で統廃合の是非についてよく話し合い、合意を尊重することが不可欠です。

安易な統合は取り返しのつかない事態も

学校は、運動会やお祭り、文化祭などを含めて、地域の拠点としての役割も担っています。子どもが少なくなっ

たからとって安易に統廃合をすすめれば、地域コミュニティーの崩壊、地域社会の荒廃という取り返しのつかない事態を招きかねません。

統廃合のおおもとは自公政権の教育費抑制策

一方的な統廃合のおおもとは、自公政権の教育予算の抑制策があります。日本共産党は、「住民の合意尊重こそ不可欠」を大切に、みなさんと力を合わせます。



岩国民報

長岡たつひさ版

日本共産党岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5

TEL0827-22-2245